

ニゴロブナ放流式 ヨシ刈りボランティアを実施!



琵琶湖の環境と生態系の保全を願って、1月30日、草津市の烏丸半島で「ニゴロブナ放流式」と「ヨシ刈り」を実施しました。

ニゴロブナ放流式は「カーボンニュートラルローン未来よし」を利用して太陽光発電等を導入し、お客さまが削減されるCO₂削減量に応じて放流資金を拠出するもので、今年も3万匹を放流。うち、**1000匹のニゴロブナを当行役職員300名が放流**しました。



続いて、地元の企業4社の社員ら100名も加わり、総勢400名でヨシの刈り取りをしました。ヨシは窒素やリンを吸収し、水質浄化に効果があるとともに、魚の産卵場所として大きな役割を果たしています。参加者は、かまを手の高さ約4メートルのヨシを刈り、1時間汗を流しました。



「ニゴロブナ放流式」ならびに「ヨシ刈りボランティア」は、今年10月に開催されるCOP10を盛り上げる、**パートナーシップ事業として認定**を受けています。

パートナーシップ事業

